

浜松観光ボランティアガイドの会

研修部主催「企業探訪 浜松ホトニクス(株)」

7月10日10:00~11:30に浜松ホトニクス(株)本社(日本生命浜松駅前ビル6F会議室)にて、研修部主催による企業探訪が会場いっぱいに会員72名の参加のもとに実施されました。

先ず鈴木研修部長から、晝馬輝夫前社長が小柴昌俊東大教授から要請された「ニュートリノ」を検出するための世界最大の大口徑20インチ光電子増倍管を製造でき、ノーベル物理学賞を受賞できた経緯が紹介されました。

続いて、浜松ホトニクス広報担当の野末廸隆(みちたか)様からプロジェクターを使って説明を受けました。

1. 浜松ホトニクスの企業紹介

浜松ホトニクス(株)の前身である浜松テレビ(株)を晝馬輝夫前社長が高柳健次郎の門下生である堀内平八郎氏等と共に昭和28年に光技術と産業を結びつける会社として設立しました。主要営業品目は光電子増倍管、イメージ機器、光源、光半導体素子、画像処理・計測装置で、海外売上比率は71%と高い比率でした。

ホトニクスとは photon (光の粒) + ics (技術) の組み合わせで、光に基づく技術を意味します。光には波と粒の両方の性質があり、粒を光子(フォトン)といいます。

2. 光技術の応用

次のように幅広い分野に利用されています。**血液検査**では試薬の測定、**自動車**では距離計測、雨滴検知など、**セキュリティ・防犯**ではX線手荷物検査など、**医療機器**としてレントゲン、CT。

宇宙分野では小惑星探査機はやぶさ2にInAsイメージセンサーが使われています。

物理分野ではカミオカンデで、前述のように小柴先生がニュートリノの観測に成功しました。

3. 光電子増倍管とカミオカンデ

光電子増倍管とは超高感度光センサーであり、光の1粒から測定できます。動作は光の粒が入ると光電子が発生し、それを100万から1,000万倍に増倍して計測します。(右写真)

【カミオカンデ】1983年完成。直径16m×高さ16mの巨大水槽。超純水量3,000t。20インチ光電子増倍管1,050本を使用。宇宙から飛んできたニュートリノは水の分子にぶつかり弱い光を出す。これを光電子増倍管でキャッチします。

【スーパーカミオカンデ】1996年、神岡鉱山山頂から1,000m下の地中に設置。直径40m×高さ42mの巨大水槽。超純水量5万t、カミオカンデの17倍。20インチ光電子増倍管11,200本を使用。

【ハイパーカミオカンデ】2026年から運転開始予定。直径74m×高さ60mの巨大水槽。超純水量26万t、スーパーカミオカンデの5.2倍。20インチ光電子増倍管4万本を使用。

4. 主な社会貢献活動

1988年に光科学技術に関する調査・研究、秀でた研究者への助成を行う「(公財)光科学技術研究振興財団」を浜松ホトニクス(株)が設立、また、光技術を使って新しい産業創成を目指して、人材を養成し、起業そのものを教育目標とする「光産業創成大学院大学」を2005年に開学しました。

世界に誇る製品の開発、産業創成に貢献する浜松の企業に感銘し、また、説明終了後40分近く質疑応答が続けられた大変盛況な研修会でした。説明をいただいた野末様、スタッフの皆様、及び研修会の準備をしていただいた研修部の皆様には感謝申し上げます。 広報部 佐原正敏(中ブロック)



受講風景



20インチ光電子増倍管

事業部主催「夏休みに自由研究やらまいか！」

「夏休みに浜松城周辺で自由研究やらまいか」が、7月30日から8月1日の3日間、事業部主催により開催。参加した子供たちは10名（男子7名、女子3名）でした。

第1日目は、連日の猛暑のなか午前中の2時間。野外研修として、浜松城公園⇨旧軽便鉄道奥山線遊歩道⇨犀ヶ崖資料館⇨浜松東照宮⇨浜松城公園のコースでした。子供たちは奥山線遊歩道を歩くのは初めてのようで、奥山線の歴史の説明に聞き入っていました。また機関車の煙突の形がラッキョウに似ていることから「ラッキョウ軽便」と呼ばれていたとの話に、子供たちから「へえーっ」との声が上がりました。



浜松東照宮境内にて

犀ヶ崖資料館では、18分間のDVDを鑑賞したり事業部員の説明を受け、遠州の戦国時代、徳川家康、三方ヶ原の戦い、遠州大念仏についての理解を深めていたようです。また途中の三社神社においては、手水舎の四隅の柱が4本ではなくて12本（3本×4柱）で屋根を支えているとの説明がありました。

東照宮では、三方ヶ原合戦時の家康公のブロンズ像と、松下家に仕えていた当時の日吉丸が猿真似をして粟を食べているブロンズ像が子供たちに好評で、さらにここはパワースポットとの説明を受けて盛んに写真を撮っていました。

「歴史に興味がある。歴史が好きだ」と言うだけあって、子供たちは全員積極的でした。

広報部 中野典子（東ブロック）

第2日目は、浜松城。研究する子供たちは初日と同数、保護者等を含め総勢22名の参加でした。9時30分スタートし、前半1時間は野外研修、後半1時間は浜松城内の研修の順に進められました。

まず、歴史ゾーン整備完成図が描かれた大パネルの前で事業部員から浜松城のレイアウト、築城の歴史等の説明を受け、子供たちも完成図を眺め「こんなに立派なお城になるといいね!」と口々に言っていました。私も同感。



浜松城での学習

次に天守門に進みます。大きな鏡石の前で石の採れた場所、運搬方法が解説されました。数人が石の感触を確かめ、運搬方法に想いを馳せているようでした。

次の天守曲輪でのハイライトは、ハート型の石発見クイズです。石垣の前を走りまわり、4つ程発見した子もいました。ここからは城内に入ります。1階に展示された若き日の家康立体像は、保護者を含めた皆さんの注目を集めていました。

2階の旧城下町のジオラマ研修では子供たちが夫々現在地、東照宮の位置を言い当てたり、「奥山線は何処を走っていたの」と質問したり、初日の学習効果が確認できました。下城の際、石垣階段では保護者祖父を気遣う少年の声が聞こえ、微笑ましく感じました。

2階の旧城下町のジオラマ研修では子供たちが夫々現在地、東照宮の位置を言い当てたり、「奥山線は何処を走っていたの」と質問したり、初日の学習効果が確認できました。下城の際、石垣階段では保護者祖父を気遣う少年の声が聞こえ、微笑ましく感じました。

広報部 古本俊夫（南ブロック）

第3日目は、市民協働センター講座室での座学です。

- ・徳川家康が浜松に移った際の主な家臣団について
- ・徳川家康の生い立ち

をテーマに事業部員による講座がありました。

家臣団については、家臣7名の屋敷推定地標柱や家紋等をカラー写真入りの資料で、生い立ちについては、家康の1歳から75歳までの経歴を表にした資料が参加者に配られました。いずれも小学生には分かり易く丁寧な説明により、皆熱心に聴いていました。

今回は、積志、初生、細江等々、浜松市郊外からの参加が目立ち、自宅から会場までの道は、親子のコミュニケーションの場でもあったと思われまます。帰宅後、3日間の学習を家族で話し合っている光景が目に見えます。



市民協働センターでの座学

藤田礼子（中ブロック）

北ブロック主催「新入会員歓迎講演会」

北ブロックでは、今年度2名の方を会員に迎えましたので、歓迎会を企画しました。実は当ブロックでの歓迎会は初めてのことでしたが、諸案の中から「新入会員歓迎講演昼食会」として、7月22日北部協働センターにて午前の定例会の後、約1時間の講演を実施しました。参加者は、当ブロック23名、他ブロックより11名でした。

講師として森町の田邊哲さん（災禍転覆貧乏神神社三倉分社祭主名：田邊口幸麿呂（くちさきまろ）さん）をお迎えし、「観光ガイドに望まれる笑い与健康」をテーマに講演をしていただきました。田邊さんは、「日本笑い学会」笑いの講師団として、SBS学苑等全国で各種講演をされており、人生体験を踏まえた独特のお話で楽しいひと時を過ごすことができました。

講演のポイントとしては、貧乏神神社分社の由来とご利益（飯田市にある本部に参詣し、感動したのがきっかけで分神してもらい、ご神体の移動式神社として活動。貧乏神を退散させ笑顔になり幸福をつかむことがご利益）のお話の一つ。

また、地元森町に観光客を誘致するため「笑っ茶うお参りコース」を主体的に活動して設定した話（森の石松のお墓を大洞院内とは別の地区に、岸信介氏等の著名人の寄附を募り建立し、話題性を高めたこと。女性の願いを聞いてもらえる神様として有名な片吹大日堂もコースの一つだが、ここで蒲桃（ふともも）の花の苗木の販売を企画していること等）の説明がありました。

チンドン隊に参加し、富士山の山頂でチンドン演奏の企画をしたこともあるが、浜松は楽器（音楽）の街なのでチンドン楽器を取り入れたチンドン葬を企画してみてもどうだろうか？との提案。

癌の病名を“ボン”に変えたら、癌に対する印象が変わるのではないか？（ある生命保険会社が関心を持っているとのこと）

森町も人口が減少し、高齢化が進んでいるが、「森町朗神（ろうじん）福祉協議会」を設立し、「朗神ホーム」の設立等も検討しており、神幸（じんこう）密度世界一を目指している。

これからも“プロジェクトP”（春野町の北小学校で新入学児童がゼロであったとき、住民のアイデでヤギを入学生としピンキーと名付け話題になったことを指す）のように、世の中に役立つことを仕方なくやるのではなく、気軽に取り組んでいきたいとの話でした。

笑う機会、笑ってもらえる話題性はどこにもあると思うが、観光資源に恵まれている浜松においてはなおさらで、お互いボランティア活動に頑張りましょうとのことでした。

最後に田邊さんから、味のある相撲甚句の「鶴と亀」を披露していただき終了しました。

終わりに新入会員の曾布川保さんに感想を聞きましたら「面白かっただけでなく自分が笑うことの大切さ、人を笑わせることの重要性を最初の『つかみ』から最後の相撲甚句まで一貫して伝えてくれたように感じます。観光ガイドにも『笑い』の余裕ができるとさらに良いと思いました」とのことでした。

広報部 植田善和（北ブロック）



研修会の様子

新入会員の入会動機

私の入会動機は、二つです。

昨年「おんな城主直虎」がらみで、奥浜名湖観光ボランティアガイドをやらせていただき、ガイドは全国から来訪されるお客様と楽しい会話ができることを知ったのが、動機の一つです。

浜松のガイドでは、更に楽しい出会いが待っているのではないかと期待しています。

もう一つは、浜松観光ボランティアガイドの会に入ると、家康さんをもっと知ることができると思ったからです。

山岡荘八氏の「徳川家康」や「徳川家光」を若い頃に読んで、それ以来、大武将にして大政治家の「家康」に魅かれています。

先輩ガイドの皆さん、家康さんのことをいろいろ教えてください。

中ブロック 小池孝幸

私がこの観光ボランティアガイドの会に入会したのは、格別に何かをしたいとか、これといった動機はありませんでした。退職5年近く経ち、毎日が日曜日の生活にも少し退屈になり、時間をもてあそぶ日が増えてきたころ「広報はままつ」でこの会のことを知り、入会しました。

新人研修を受け地元浜松の歴史等を勉強しているうちに歴史を身近に感じ、改めてふるさと浜松が好きになりました。又先輩の皆様が実に生き生きと活動されている姿にも感心しました。

これからこの会を通して、地元の人にも少しでも浜松の良さを知ってもらい好きになるように、そして観光客の皆様には浜松の歴史とおいしいものを知っていただきもう一度来てもらえるように、活動したいと思います。そのためにはまず自分がこのボランティアガイドを楽しみ、その楽しみが皆様に伝わるように、いつでも笑顔で接していきたいと思っています。某テレビ番組のチコちゃんじゃないけれど「ポット生きてんじゃねえよ」と言われないように、無理せずに頑張っていきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

南ブロック 杉山邦雄

この会には友人の勧めにより軽い気持ちで入らせていただきました。

ガイドの参考になれば良いかな、と読み始めました歴史小説にはまり込んでいます。

戦国時代の武将とその妻、そして大衆を取り巻く凄まじいまでの時代の中で、人々の瞬時の気持ちの動き、頭の働き、又深謀なる思い巡らし、策略、これらの対処の仕方によって変わっていく結末等大変興味深いものがあります。まだほんの入り口にしか過ぎませんが、この機会に歴史の理解を深めたいと思っています。

中ブロック 織田昌明

7月のガイド活動 《明るく楽しくやらまいか》

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。また、この3箇所他に「浜松駅観光インフォメーションセンター」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

《浜松城》

複数回来場のあった団体

* クラブツーリズム(株)第2国内旅行	6回	266名
* クラブツーリズム(株)東海道を歩く会	2回	42名
* オイスカ開発教育専門学校	2回	75名

1日	日	青山熊野神社氏子会	25名
2日	月	美山観光バス	20名
3日	火	ヒイチ福寿会	23名
4日	水	磐田市立長野小学校	68名
6日	金	半田市区長連絡協議会	37名
		芳川北小学校	96名
7日	土	レシップ労働組合	39名
		JEC連合	31名
14日	土	(株)岩田組 (株)両岩	23名
15日	日	さかえ屋	20名
17日	火	浜松学院中学校	21名
18日	水	三方原小学校	99名

19日	木	(株)カーポ	96名
		香港からの団体	38名
22日	日	梨の里	31名
		中国人マーチングバンド	81名
		ジョイウォーク友の会	23名
28日	土	川崎ロッキーズ	27名
31日	火	夏休みに自由研究やらまいか	22名
	*	上記以外に19名以下の14団体	189名

《犀ヶ崖資料館》

3日	火	砂丘小学校	19名
6日	金	芳川北小学校	55名
8日	日	東海道を歩く会	26名
18日	水	三方原小学校	99名

《浜松まつり会館》

3日	火	静岡大学附属浜松小学校	74名
6日	金	半田市区長連絡協議会	37名
	*	日曜対応(1, 8, 15, 22日)	628名

はままつ案内人会報 197号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会

〒430-0946

浜松市中区元城町100-2 (浜松城内)

TEL & FAX 053-456-1303

メールアドレス mail@hama-svg.jp

ホームページ http://www.hama-svg.jp/



出生大名 家康くん

出生法師 直虎ちゃん

はままつ案内人

検索

(会の新メールアドレスを8月1日より運用しています)